

平成27年度 明るいまちづくりの集い

140号

H28.3.18 発行



カードがペットボトルのお茶の中に?



平成二十七年年度の「明るいまちづくりの集い」は、井原市の「笑って健康元氣アップ事業(笑いの講座)」と一緒に二月二十八日(日)に、西江原幼児園リズム室において好評のうちに終えることができました。

この「集い」は、平成九年度から西江原公民館と西江原地区社会福祉協議会が毎年開催してきた年度末の一大行事で、当初は、お年寄りを対象としたプログラムを展開していましたが、年々高齢化率の数値が高くなる近年は、幅広い年齢層の人びとが交流でき、西江原のみならず、目を指してきたもので、もうすぐ二十回を数える伝統的行事ということになりました。

今回は、事前の担当者会議や実施委員会で「笑いの講座」の趣旨である「笑いは健康のもと」を踏まえた、しかも例年より豪華なプログラムを用意して、広報や開催に向けた準備に取組みました。その甲斐があつてか、幸いにも当日は、三寒四温のう



鍵盤ハーモニカは額で弾くの?

この温かい日の巡り合わせとなり、会場に準備した席数の予想よりは若干なかつたものの、子どもからお年寄りまで百八十人が集い、会場はほぼ満席になりました。

簡単に開会行事をして、第一幕は、岡山市の「手品家」に所属する新進気鋭のマジシャン「TAKUMI」さんのマジック、参加者の目は、軽快なBGMとトークに載せられて壇上に集中。風船やひも、リング、スカーフから鳩が出るなどの秘技に驚きと感嘆。台が宙を踊りながら出てきたり、参加者も参加したマジックで指が伸びると騙されたり。カードマジックの最後は、参加者Mさんが壇上上がり、無作為に選んだ一枚のカードが、いつの間にか栓が開いていないペットボトルのお茶の中に?で終わり。子どもも大人も嘩然、ビックリポン、魔法にかけられて大好評のマジックの公演でした。

第二幕は、東京在住で、新市町出身の社会人女性落語家として全国で活躍されている「ぽんぽん亭遊月」

さんの落語と演芸。

まずは、「長短」と「転宅」の二題が演じられ、普段、生の落語に触れることのない参加者は、目前での熱演に爆笑と拍手。途中休憩を挟んでの始まりは、ピアノ調律師でもある遊月さんの特技の披露。同時に二本のリコーダを吹いて両手で演奏するという技と額で器用に鍵盤を操られる鍵盤ハーモニカの演奏。その演奏で参加者は「はるばる来たぜ西江原♪」の合唱など。一層盛り上がったところで、「背で泣いてる唐獅子牡丹」のお題の任侠落語。いずれも桂文枝師匠の作品とのことですが、会場は、遊月さんのメリハリの利いた生の話芸や演芸を堪能し、「笑って健康」の二時間余りは、みんながより笑顔になって終えたのでした。

参加者は、「楽しかった」、「カードマジックの不思議」などの余韻に浸りながらの退場後は、この「集い」に合わせて公民館二階で開かれた「わが家族・懐かしの写真展」(甲山はつらつ学園主催・豚汁のおもてなし付き)の会場へ、この会場や廊下での写真を見たり、気さくな遊月さんとの交流に花が咲くなど、この日は明るく意義深い半日になったと思うのでした。

最後に、「集い」の企画から会場設営、撤収までご協力いただいた自治会や公民館等関係、そして主催の皆様にご心からお礼を申し上げる次第です。

(公民館長 宗高平八)

公民館・この一年の思い

公民館長 宗高平 八

西江原公民館の平成二十七年年度の諸事業も、多くの皆様のご理解とご支援、ご協力をいただき、当初の計画どおり、しかもいづれも成功といえる域内で終えることができたのではないだろうか。

毎年このことながら（毎年というほどこの欄の原稿を書いてきたのかとあきれながら？）先人が、そのときどきの流れに合わせて築いてこられた伝統的事業を踏襲、変しながら実施することができたことに安堵するとともに、支えて下さいました自治会等各種団体、そしてそれぞれを担当して企画・準備・運営に携わっていたいただいた公民館の六つの専門部関係の皆様改めて敬意を表し、感謝申し上げる次第です。

ちなみに、いま伝統として続けている主な公民館行事の始まり、変遷などについて調べてみると次のよう

です。
○大運動会（平成二十五年 小学校運動会と町民運動会を統合。昔から行われていた青年団主催の運動会を青年団の弱体化から公民館主催にして「町民運動会」となったのは昭和六十一年からか）
○納涼盆踊り大会（昭和五十三年）（以来、八月十三日で踏襲）

○ふれあい広場（昭和五十三年・「文化祭」、昭和六十三年「ふるさと

祭」、平成三年「ふれあい広場」に）
○バレーボール大会（昭和五十六年）
○明るいまちづくりの集い（平成九年）
○「公民館だより」第一号発行（昭和五十五年 今回が第一四〇号）
 などです。

さらに、「公民館」なるものは、昭和二十四年に施行された「社会教育法」により、地方公共団体に社会教育奨励のための施設として設置するものと定められて以来、家庭教育等、学校教育に連携する教育活動の推進と充実が図られ、西江原においては、昭和四十八年に独立した施設（今の旧公民館）が設置され、さらには平成十九年に、幼児園との複合施設となった現在の新しい公民館が誕生しています。

考えてみると、昨年が戦後七十年云々と顧みられたように、公民館も国民の豊かな生活醸成を求めて七十年を迎えようとしている訳で、西江原における記録を垣間見ただけでも、前述のような公民館行事、さらには文化教室や学級の活動、それに関わる先輩たちの努力や工夫の積み重ねが、今日の西江原の文化や人の繋がりを醸し出して現在があると願

みることができるとか。
 さて、八月には、市と自治会の主導で「小田川決壊を想定した避難訓練」が、公民館を最終避難場所として実施されましたが、今日では、安全・安心や高齢化対策をなども考えた「まちづくり」についても公民館活動の範疇に含むような要請があり

ます。
 そのためには、時代を担う世代と連携した公民館活動、さらには、それぞれの団体が行っている類似事業の統合と精選をし、内容の充実と事業数のスリム化を図ることが課題になるでしょう。
 そんなことも考える一年であったと思うとともに、何といっても、今年度も多くの皆様のご理解やご協賛のもとに、他地区から「まとまりのある西江原」と称される活動の一助を公民館としても担えたかなあとと思う一年でした。ありがとうございました。



まなびフェスタ in いばら



一月三十日、三十一日にアクトイブライフ井原で「まなびフェスタ in いばら」が

開催されました。婦人学級・幼児学級・家庭教育学級の皆さんが作成されたパネルなどを展示しました。また公開講座では、祖父が木ノ子の庄屋である岩波書店辞典編集部副部長平木靖成氏の「ことばの正しい間違い方」辞典から学ぶ日本語のすがた」がありました。

親睦バレーボール大会



十二月六日、西江原小学校体育館において、第三十五回西江原町親睦バレーボール大会を開催しました。
 寒い時期での大会ですが、多くの方に参加していただき、好プレーあり、ときに珍プレーもありましたが白熱した試合となり、真剣な眼差しでボールを追う選手の皆さんに、各部のサポーター、あるいは応援の皆さんも一つ一つのプレーに大きな声援を送りながら、大会全体を盛り上げていただきました。
 試合はリーグ戦方式で行い、全六試合中五試合がフルセットと力が均衡したなかで、今年度は第一部が優勝されました。
 最後になりましたが、大会を支えて下さった役員の皆様、女性会の皆様、そして選手の皆さんに深く感謝いたします。
 （体・レク部長 金島孝和）

2015年度の行事

第4回 公民館対抗グラウンドゴルフ大会
(H27.7.5)・団体の部 第2位 西江原B
・19歳以上60歳未満の部
優勝 石井達司さん
第3位 三村雅司さん

第3回 西江原町大運動会
(H27.5.16)



第38回 納涼盆踊り大会
(H27.8.13)



第41回 井原夏まつり
(H27.8.1)



第53回 市民体育祭
(H27.10.4)



しめ縄づくり教室
(H27.12.5)

2015 ふれあい広場
(H27.11.22)



第35回 バレーボール大会
(H27.12.6)



第4回 ペタンク大会
(H27.10.18)



新年互礼会
(H28.1.14)



囲碁大会

西江原町第五十一回囲碁大会
を二月二十一日開催しました。
成績は次の通りです。

☆大会成績 (敬称略)

クラス	優勝	第二位	第三位	敢闘賞
A	落合健二	川上忠恒	片山敏光	川田一郎
B	中西稔	藤井啓吾	大山隆	小林重



明るいまちづくりの集い
(H28.2.28)



まなびフェスタ in いばら
(H28.1.30・31)

社協だより

ふれあいサロン 葵 サロンで楽しく



第一月曜日、一月四日に西江原地区社協のサロン葵が開かれました。

九時頃から集まり、「おはよう。」「おめでとう。」「と、あかるい声を掛け合いながら昼食の準備を始めました。この日のメニューはおじやでした。皆で協力し合いながら、「お正月はどうしとったん。私は孫が来とって疲れたけど、楽しかったわ」とか、「息子に旅行に連れて行ってもらったんよ」と、お正月の思い出を話しながら準備を進め、出来上がるのを待つ間に民舞「西江原文化教室」の皆さんによる「新春の舞」を見せていただきました。舞を見ながらお正月を感じさせて頂き、楽しい時間を過ごすことができました。民舞西江原の方々、素敵な舞をありがとうございました。

舞が終わる頃には食事の準備も整い、皆でおしゃべりをしながら美味しくいただきました。

『ふれあいサロン葵』は毎月第一月曜日に開かれ、七十歳以上の一人暮らしの方と夫婦二人暮らしの方が対象となります。一人でも多くの方に参加して頂けるよう、色々な計画を立てています。話をしながら食事をしたり、物づくりをしたり皆でふれあえる楽しい場となっておりますので、お気軽にご参加をお待ちいたします。

(西江原地区社会福祉協議会 落合晴光)

まちづくり報告

西江原地区まちづくり協議会

平成27年度に西江原まちづくり協議会が取り組んだ事業は次の4事業です。
事業ごとに、実施した主な活動を写真の映像で報告します。

1 甲山はつらつ学園(3年目)

- ※ガーデニング(6月)
- ※草木染体験(7月)
- ※グラウンドゴルフ(四季が丘)を楽しもう(9月)
- ※昔遊び・児童との交流(1月)
- ※「我が家族の写真展」豚汁のおもてなし(2月)



2 雄神川流域の自然と環境を護る事業(3年目)

- ※ホテルの幼虫放流会風景(11月)
- ※第3回「水辺のコンサート」(10月)
- ※「西江原写真コンテスト」(6~11月)



3 神戸川を活かし生かすとともに生きる事業(2年目)

- ※まちづくり研究会(2月)
- ※河岸清掃、花の球根を植える活動(3月)



4 ふるさとのレシピを探し活かす事業(新規)

- ※三豊市「まちづくり推進隊豊中」との郷土料理視察交流(2月)
- ※「ふるさとのひな祭りを楽しむ会」(3月)



4事業とも平成28年度も、さらに発展させて実施したいと考えています。

ひめ縄づくり教室



十二月五日(土)に、毎年恒例の「ひめ縄づくり教室」を開催しました。

今回も多くの町民の皆様にご参加いただきました。苦戦をされているような方もいらつしやるように見受けられましたが、ご指導いただき生駒先生と一緒に、経験豊かなベテランの皆様にもお手伝いをいただき、最後には、皆様にご自身で作られた立派なしめ縄としめ飾りを持ち帰られました。

和やかな雰囲気の中で丁寧に教えていただけましたので、初めての方でもとても参加し易い行事だと思えます。次回も多くの皆様のご参加をお待ちしています。

(文化部長 相田瑞明)